

平成 25 年 3 月

学長 殿  
関連部局長 殿

東北大学高等教育開発推進センター長  
木島 明博  
〔公印省略〕

第 18 回東北大学高等教育フォーラムについて（通知）

拝啓

早春の候、貴職におかれましてはますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。平素から、本学の研究教育活動に対しては格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、このたび、本センター主催の**第 18 回東北大学高等教育フォーラム**を企画いたしましたので、お知らせいたします。

今回は「新時代の大学教育を考える」シリーズの第 10 回目に当たりますが、「書く力を伸ばす ―円滑な高大接続のために―」というタイトルで、**5 月 24 日（金）**の開催を予定いたしております。資料の準備のために参加者の概数を把握したいと考えております。ご多用のところまことに恐縮ではございますが、下記 URL から WEB ページにて参加申し込みを受け付けておりますので、**5 月 17 日（金）**までに参加予定の方のお名前をお知らせいただければ幸いです。なお、電子メール、または、同封の申込用紙を利用して FAX にてお知らせいただくことも可能です。

末筆ではございますが、貴職のますますのご発展を祈念いたしております。

敬具

<http://www.adrec.he.tohoku.ac.jp/>

※ なお、本フォーラムの企画担当者、連絡担当者は、下記の通りになります。どうぞよろしく願いいたします。

企画担当者	石井光夫	東北大学高等教育開発推進センター教授
（事務局	倉元直樹	東北大学高等教育開発推進センター准教授）
事務担当者	鎌田裕子	東北大学高等教育開発推進センター事務室
	Tel. 022-795-7551, Fax. 022-795-4815	
	メールアドレス（共通） <a href="mailto:forum18@he.tohoku.ac.jp">forum18@he.tohoku.ac.jp</a>	

## 「書く力」を伸ばす

### ——円滑な高大接続のために——

東北大学高等教育開発推進センターでは、「新時代の大学教育を考える」と題し、高大接続をテーマにしたフォーラムをシリーズで開催しています。これまで理科、数学、英語といった教科教育も話題に取り上げていますが、今回は国語教育、とくに「書く力」に焦点を当て、高校と大学双方からこの問題を考えていきます。

コミュニケーション能力が重視される時代となり、「書くこと」の重要性は増すばかりです。大学の学士課程教育においても、学生が何がしかの文章を求められる機会が多いにもかかわらず、大学で要求される水準の「文章力の基礎」や「常識」が備わっていない学生が多くて苦勞する、という大学教員の嘆きをよく耳にするところです。他方、多忙化を極める高校の教科教育の枠の中で、作文のトレーニングに多くの時間を割くのもなかなか難しい実情があります。高校、大学、双方に工夫と協力が求められる課題だと言えるでしょう。

フォーラムでは基調講演者として、国語教育学の専門家であり、高校教育における「書く力」の育成の実情に詳しい筑波大学アドミッションセンター長の島田康行教授をお招きすることとしました。さらに、現状報告には、高校生を対象とした「青春のエッセー 阿部次郎記念賞」を通じて、卓越した高校生の文章に接してきた東北大学大学院文学研究科岩田美喜准教授から、期待される「書く力」や高校生の現状、作品応募に際しての高校の取組などに関わる話題を提供していただきます。また、高校側からは、「国語教育の中での作文指導」、「大学入試で課される志望理由書、自己推薦書、小論文などを通じた指導」という、高校教育の一環としての「書く力」の育成と指導に関して実績をお持ちのお二人の先生からの話題提供を予定しています。

日時 平成25年5月24日（金） 13:00～17:00（受付開始 12:30）

会場 （仮）東北大学川内北キャンパス マルチメディア教育研究棟マルチメディアホール

#### フォーラム内容

##### I 開会

##### II 基調講演 高校・大学の双方で育てたい「書く力」

筑波大学アドミッションセンター 島田 康行（しまだ やすゆき）教授

（アドミッションセンター長）

##### III 現状報告

##### （1）「阿部次郎記念賞を通じて見た高校生が好む文体と主題」

東北大学大学院文学研究科 岩田 美喜（いわた みき）准教授

（阿部次郎記念賞選考委員）

##### （2）「高等学校国語教育における書くことの指導」

栃木県総合教育センター 古口 のり子（こぐち のりこ）指導主事

##### （3）「小論文指導+α -E判定からの合格だけでなく-」

岩手県立黒沢尻北高等学校 鈴木 勝博（すずき かつひろ）教諭

##### IV 討議

##### V 閉会

【第18回】東北大学高等教育フォーラム

(新時代の大学教育を考える [10])



# 「書く力」を伸ばす

——円滑な高大接続のために——

平成25年

5月24日(金)

13:00~17:00(受付開始12:30)

東北大学川内北キャンパス

マルチメディア教育研究棟2階マルチメディアホール



## プログラム

■ 開 会

■ 基調講演 高校・大学の双方で育てたい「書く力」

島田 康行 (筑波大学アドミッションセンター長 / 教授)

■ 現状報告

1. 「阿部次郎記念賞を通じて見た高校生が好む文体と主題」

岩田 美喜 (東北大学大学院文学研究科准教授 / 阿部次郎記念賞選考委員)

2. 「高等学校国語教育における書くことの指導」

古口 のり子 (栃木県総合教育センター指導主事)

3. 「小論文指導+α — E判定からの合格だけでなく —」

鈴木 勝博 (岩手県立黒沢尻北高等学校教諭)

■ 討 議

■ 閉 会

問い合わせ  
・  
申込み

東北大学高等教育開発推進センター

TEL. 022-795-7551 Fax. 022-795-4815

E-mail : [forum18@he.tohoku.ac.jp](mailto:forum18@he.tohoku.ac.jp)

URL : <http://www.adrec.he.tohoku.ac.jp/>



Center for the Advancement of Higher Education  
TOHOKU UNIVERSITY

## 第 18 回 東北大学高等教育フォーラム参加申込の手引き

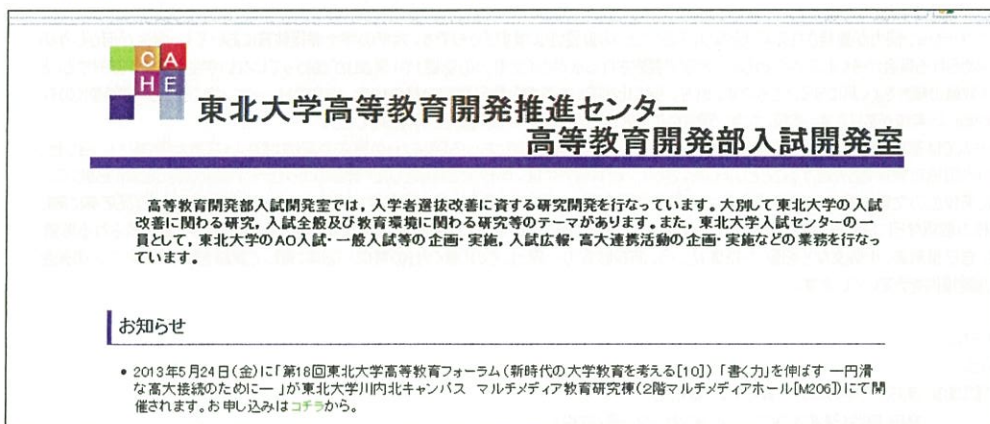
この度は、「第 18 回 東北大学高等教育フォーラム」にお越しいただきますことを心から感謝いたします。

### 1. お願い

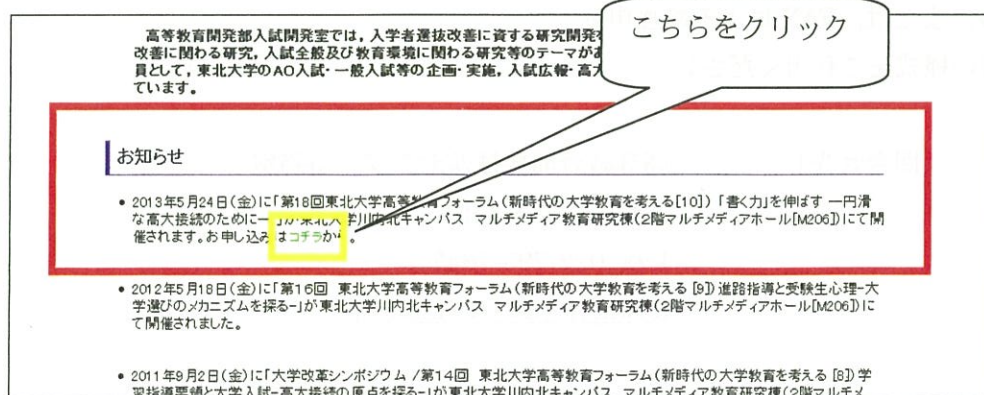
- 本フォーラムへの参加は、ウェブページの受付サイト、電子メール、FAX の 3 通りの方法で申込の受付を行います。
- 事務処理の都合上、なるべく**ウェブページの受付サイト**を通じてお申し込みください。
- 申込手順は以下の通りです。

### 2. ウェブページ受付サイトからの参加申込手順

- <http://www.adrec.he.tohoku.ac.jp/> を開きます。



- 「お知らせ」の「第 18 回 東北大学高等教育フォーラム（新時代の大学教育を考える [10]）「書く力」を伸ばす ―円滑な高大接続のために―」の「WEB 申し込みはこちら」の「こちら」をクリックします。



- 参加申込のサイトにつながりますので、必要事項を記入して申込を完了してください。

→東北大学 →高等教育開発推進センター

東北大学  
**高等教育開発推進センター**  
Center for the Advancement of Higher Education, TOHOKU UNIVERSITY

[戻る](#)

**詳細・申込み** Event Detail & Registration

**第18回東北大学高等教育フォーラム(新時代の大学教育を考える[10])「書く力」を伸ばす 円滑な高大接続のために**

教育関係共同利用拠点提供プログラム 高等教育論 L-01

日時:平成24年5月24日(金) 13:00~17:00(受付開始 12:30)

場所:東北大学川内北キャンパス マルチメディア教育研究棟2階 マルチメディアホール

東北大学高等教育開発推進センターでは、「新時代の大学教育を考える」と題し、高大接続をテーマにしたフォーラムをシリーズで開催しています。これまで理科、数学、英語といった教科教育も話題に取り上げていますが、今回は国語教育、とくに「書く力」に焦点を当て、高校と大学双方からこの問題を考えていきます。

コミュニケーション能力が重視される時代となり、「書くこと」の重要性は増すばかりです。大学の学士課程教育においても、学生が何がしかの文章を求められる機会が多いにもかかわらず、大学で要求される水準の「文章力の基礎」や「常識」が備わっていない学生が多くて苦労する、という大学教員の嘆きをよく耳にするところです。他方、多忙化を極める高校の教科教育の枠の中で、作文のトレーニングに多くの時間を割くのもなかなか難しい実情があります。高校、大学、双方に工夫と協力が求められる課題だと言えるでしょう。

フォーラムでは基調講演者として、国語教育学の専門家であり、高校教育における「書く力」の育成の実情に詳しい筑波大学アドミッションセンター長の島田康行教授をお招きすることとしました。さらに、現状報告には、高校生を対象とした「青春のエッセー 阿部次郎記念賞」を通じて、卓越した高校生の文章に接してきた東北大学大学院文学研究科岩田美喜准教授から、期待される「書く力」や高校生の現状、作品応募に際しての高校の取組などに関わる話題を提供していただきます。また、高校側からは、「国語教育の中での作文指導」、「大学入試で課される志望理由書、自己推薦書、小論文などを巡じた指導」という、高校教育の一環としての「書く力」の育成と指導に関して実績をお持ちのお二人の先生からの話題提供を予定しています。

【プログラム】

I 開会

II 基調講演 高校・大学の双方で育てたい「書く力」  
島田 康行(筑波大学アドミッションセンター長/教授)

III 現状報告

(1)「阿部次郎記念賞を通じて見た高校生が好む文体と主題」  
岩田 美喜(東北大学大学院文学研究科准教授/阿部次郎記念賞選考委員)

(2)「高等学校国語教育における書くことの指導」  
古口のり子(栃木県総合教育センター指導主事)

3. メール、または、FAX による参加申込

- 同封の様式をご利用ください。

〔問合せ先〕

高等教育開発推進センター事務局

Tel. 022-795-7551

Fax. 022-795-7647

[forum18@he.tohoku.ac.jp](mailto:forum18@he.tohoku.ac.jp)

# 第 18 回 東北大学高等教育フォーラム 参加申込書（メール，FAX 用）

宛先：東北大学高等教育開発推進センター高等教育開発部入試開発室

ホームページ：<http://www.adrec.he.tohoku.ac.jp/>

メールアドレス：[forum18@he.tohoku.ac.jp](mailto:forum18@he.tohoku.ac.jp)

FAX 番号：022-795-4815，電話番号：022-795-7551

5月24日（金）開催（東北大学川内北キャンパス マルチメディア教育研究棟）の「第18回 東北大学高等教育フォーラム（新時代の大学教育を考える[10]）『書く力』を伸ばす ――円滑な高大接続のために――」に参加します。

**ご所属**

---

連絡先メールアドレス，または，FAX 番号

---

**ご芳名**

---

**ご芳名**

---

**ご芳名**


---

- 5月17日（金）までに，なるべくホームページの受付サイトからお申込ください。
- 電子メール，または，FAX にてのお申込も可能です。
- 電子メールにてお申込の場合，件名を「第18回東北大学高等教育フォーラム参加申込」としてごください。
- 申込数が会場の収容能力を超えた場合には，早めに申込受付を打ち切る場合もあることを予めご了承ください。
- お問い合わせは上記までお願いいたします。



# 東北大学高等教育開発推進センター —出版物のご案内—


※東北大学出版会ホームページ及び全国の書店で取り扱っております。



**高等教育ライブラリ 2**  
**『高大接続関係のパラダイム転換と再構築』**

東北大学高等教育開発推進センター編 2011年3月刊行  
定価1,785円(税込) A5判 222頁  
ISBN 978-4-86163-164-1 C3037


かつて高校と大学の教育は大学入試の一点で結ばれていたが、大学が大衆化した現在、高大接続は時間軸に沿って広がりを持つようになった。大学入試もかつての単なる選抜装置としての機能から、日本の教育を支える要の役割を担っている。高大接続関係が大きく転換しつつある現在、新たなパラダイムが胎動しつつある。一方、現場では限られた条件で最善を模索しなければならない。高大接続関係の再構築に向けて、今、教育に携わる当事者ができることは何か。本書は多様な実践事例とその検証を背景に新たな高大接続モデルを提示する試みである。



**高等教育ライブラリ 4**  
**『高等学校学習指導要領 vs. 大学入試』**

東北大学高等教育開発推進センター編 2012年3月刊行  
定価1,785円(税込) A5判 224頁  
ISBN 978-4-86163-188-7 C3037

高校教育を実質的に規定している要因とは何か。大学の入学基準はどのように担保されているのか。そして、学習指導要領、大学入試センター試験、個別試験の相互関係とは。大学全入時代と言われる現在、大学入試が激戦だった頃の常識はもはや通じない。学力試験は、教育を支える「要」なのか、それとも単なる「形式」に過ぎないのか。大学入試制度は慎重に改善すべきなのか、あるいは一気に変えるべきなのか。そして、大学と高校の“役割分担”は…。立場の異なる執筆者たちによる主張の交差から、日本の教育の近未来像を描く果敢な試み。



**高等教育ライブラリ 6**  
**『大学入試と高校現場—進学指導の教育的意義—』**

東北大学高等教育開発推進センター編 2013年3月刊行  
定価2,100円(税込) A5判 240頁  
ISBN 978-4-86163-222-8 C3037

大学入学者選抜制度改革が結果的に「改悪」と受け止められてしまうのは何故か。謎を解くカギを高校教育の現場から探す。現在の高校は多様な環境に置かれている。その中で行われている進学指導の真の目的とは何か。大学入試はどのような機能を果たしているのか。大学・高校双方の視点から埋め込まれた文脈の掘り起こしを試みた。その過程で見えてきた「受験は団体戦」ということばとは？人間形成への影響も視野に入れ、検討する。2012年5月18日開催の東北大学高等教育フォーラム「進路指導と受験生心理」をもとにしたレポートと考察。

新刊

お問合せ先

**東北大学出版会** Tohoku University Press, Sendai

〒980-8577 仙台市青葉区片平2丁目1-1 東北大学構内  
TEL / 022-214-2777 FAX / 022-214-2778 E-mail / info@tups.jp

ホームページ

<http://www.tups.jp>